



日刊 日 報 日 報 日 報
日 刊 一 冊 月 三 年 五 期 報 日
日 刊 一 冊 月 三 年 五 期 報 日
日 刊 一 冊 月 三 年 五 期 報 日

座 講 識 常
オフィス・ガールのオ
フィスは事務所、役所
または官廳、ガールは
女それと女事務員と云
ふ意、オフィス・ア
ス・ワイフなら女秘書
事務女房と云つた開

二二二列車の延長と

国道改良施工の陳情

ガソリンカー運轉の延長に 同停留所の負擔軽減

石城郡勿來町から双葉郡久の濱町に及ぶ国道舗装の陳情員は昨十三日平町外四倉、大浦湯本、植田、勿來五ヶ町村長上京内務省に出頭油澤次官を初め局長を訪ねて次第を陳情したが土木局三浦專屬技師の語る所は交通量の多いこと道路の悪いことは到るところの陳情に同一であるから沿線關係地に於ける物資の動態等を計数的に提出するを可と傳へられたる如く上局の意向は考慮に容れて置く程度のものであつた模様である更に同一行が平町を中心として既に湯

改修工事未完成的

仁井田川水害二萬圓

夏井川では一千圓に止まる 何れも護岸堤の破損

夏井川改修事務所管關係の同河川及び仁井田川工事では去る十一日の洪水で夏井川流域は平窪村地内に縣道に添ふ好間村愛谷堰附近の護岸に約一千圓の被害を受けたに過ぎなかつたが仁井田川筋は下流から改修を進めてゐる未完成の工事地上流で溢れた夏水と増水の激流とで大野村の玉山地内橋前後の堤防破損最も甚だしく其の他各所の護

火保調査員 明日來平

料率引下につき

平町に於て運動中の火災保険料率引下げに關して火保協會の他につき詳細なる檢分を受ける

平町に蓬來米移入 一千四百八十五俵

内地米との混合に眺む向き 相場は標準値十二圓位

石城地方の米價高が二萬俵に近政府拂下げ米の移入で少なからず緩和されたことは報の如くであるが最近また平町の米商數店の聯合購入を以て蓬來米の移入があつた平窪入荷の量は
十日四十噸 十一日四十噸
十三日三十噸
合計百二十噸で内茨城縣下妻から内地米三十噸（四百八十俵）を除く残る九十噸は全部麻袋入百斤詰めの蓬來米十噸車百六十五俵積みで横濱から到着してゐる此の換算は一

今早朝の平街頭で 警官と賊の大格闘

危ない所を應援で取押へる 賊は古物窃盜の常習者

石城郡内郷村の小島新町二九町の大明二の五生れ穴戸一二三は今日十四日午前四時頃ドラ

平驛今上旬の貨物 五百六十四圓増収

荷は變らず自然増加 専門學校の 實習生

平窪に於ける本月上旬の貨物成績は市況に於て購買力が振はざる割合に案外良好で發送二二〇噸（前年同期一八七一噸）到着五四一噸（前年同期四九二〇〇）で此の收入二千八百五圓は昨年同期の二千二百四十一圓に比し五百六十四圓増加してゐるが貨物の種類には大して變つたものがなく大体平調な自然増加と見られてゐる

婦人文化映畫

福島民報支局と四丁目ツルヤ商店が後援する日本女性文化協會主催の婦人文化普及映畫會は今日十四日午後六時から平窪に催されるが盛會であら

平町青年
團の見學
那須岳
郡山專賣局
磨砂志記

開橋式

舊橋内橋を改修 架換られた新橋

平町の仲間町から平窪村東方部を通ずる幕内橋は夏井川改修の附帯工事として架け換へ中であつた此の程竣工したので来る二十六日午前十時半町と平窪村の聯合で渡り初めの開橋式を興行の筈である新橋は延長七十間の木橋ではあるが見事な出来栄で舊橋より上流十間に移動平橋と改稱當日約四百圓を投げ撒き餅その他の祝ひをなす

技術員會

昨日四倉商市場で 石城郡内各町村農業技術員總會は昨日十三日午前十時から四倉驛前商市場に於て開催殆んど全員（三十餘名）の出席で左記の諸件を附議し午後三時散會した

青果市況
平中央青果卸市場（調）
明日は東の風、晴（後曇）
第よくなる（小名瀬測候所）

墓前祭

今日利安寺で 小川江筋の開墾恩人澤村勝爲の墓前祭は平窪村利安寺に於て昨日十三日の宵祭に地元青年團が催せる樽太鼓に盆踊その他の餘興で賑はつたが今日十四日の本祭には管理者代理を初め江筋灌漑關係の一町七ヶ村長及び水利組合員二十七名並に地方有志多數参加あり向平窪小學児童一同が恩人澤村勝爲の唱歌を齊唱しながら参拜するなど境内は終日非常な賑はひであつた

青果市況

青物	高値	安値
玉葱	九〇〇	七五〇
玉豆	四〇〇	三〇〇
サヤ豆	四〇〇	三〇〇
胡瓜	七〇〇	六〇〇
京菜	七〇〇	六〇〇
新牛蒡	四〇〇	三〇〇
茄子	二〇〇	一〇〇
夏葱	二〇〇	一〇〇
馬鈴薯	一〇〇	五〇
馬鈴薯	一〇〇	五〇
西瓜	五〇〇	四〇〇

磨砂志記
時に〇時半、空腹を驛前で見る、忙しげにまはる文明の満たして専賣局に入る、何處利器、那須の自然と對象して此處も煙草くさい、ふれる感また一段のものがある、きもの總てが煙草の息である、さみ煙草の、もの見事に出一日さきみ「はぎ、あやめ」三來上るさま面白い様にさきみ千キログラム、響二四〇萬本つける機械の精密さ、人間のその工程を全般にわたつてたゞ機械的に手足を働かすに

